

私立大学図書館協会西地区部会 2013年度第1回阪神地区協議会定期総会議事要録

日時：2013年5月24日（金）14：30～16：15

会場：流通科学大学 講義棟I 1111階段教室

出席：出席校…44校（51名）

欠席校…28校（内、委任状提出校27校）

配布資料

1. 私立大学図書館協会西地区部会 2013年度第1回阪神地区協議会定期総会資料
2. 私立大学図書館協会西地区部会 2013年度第1回阪神地区協議会定期総会出席者名簿
3. キャッシュレジスター博物館掲載記事
4. 講演会資料
5. 流通科学大学キャンパス平面図
6. 図書館・メディアセンター案内

議事に先立ち、流通科学大学附属図書館長 野口博司氏から開会の挨拶があった。

【議 事】

議長選出まで、理事校である流通科学大学附属図書館 平林達也氏が議事を進めた。

I. 議長選出

阪神地区協議会議長校当番順位（定期総会議長校ローテーション表）に基づき、神戸山手大学図書館 山本 明氏を議長に選出した。

II. 報告事項

報告事項に先立ち、議長から、本日の出席校数及び委任状提出数が報告され、定期総会が成立している旨宣言された。

理事校から総会資料に沿って、次の各項目について報告があり、これを了承した。

1. 阪神地区協議会報告

- (1) 加盟校数（2013年4月1日現在）：72校
- (2) 2013年度役員校
- (3) 2013年度運営委員会委員

2. 西地区部会会務報告

- (1) 西地区部会加盟校（2012年度）

- (2) 2013年度西地区部会役員校
- (3) 2013・2014年度西地区部会当番校
- (4) 2013年度西地区部会研究会幹事校
- (5) 2013年度西地区部会総会
- (6) 西地区部会研究会
- (7) 西地区部会役員会

3. 協会関係事項報告

- (1) 2013年度加盟校数
- (2) 東西合同役員会
 - <修正>
関西学院大学の今村氏より、5ページにある東西合同役員会が2012年と
なっているが、2013年の間違いでないか指摘あり→2013年に訂正。
- (3) 協会賞審査委員会報告（2012年8月～2013年2月）
- (4) 研究助成委員会報告（2012年8月～2013年2月）
- (5) 国際図書館協力委員会報告（2012年8月～2013年2月）
- (6) 協会ホームページ委員会報告

4. 協会関連事項報告

- (1) 国公私立大学図書館協力委員会報告
- (2) 日本国書館協会報告
- (3) 平成25年度大学図書館近畿イニシアティブ基礎研修「中級研修」

III. 協議事項

1. 2012年度決算（案）及び同監査報告について

総会資料に基づき、監事校（桃山学院大学 竹島氏）から阪神地区協議会決算報告、前研究会幹事校（プール学院大学 御手洗氏）および現研究会幹事校（神戸親和女子大学 岩坪氏）から阪神地区研究会決算報告、相互利用運営幹事校（太成学院大学 茂木氏）から阪神地区相互利用運営活動決算報告、理事校（流通科学大学 平林氏）から学習支援プロジェクト決算報告があった。そして報告内容について関西外国語大学 片山氏から証憑書類と記帳に間違いがなかったと報告があった。審議の結果、異議なくこれを承認した。

2. 相互利用担当者連絡会の方向性について

総会資料に基づき、理事校（流通科学大学 平林氏）から今後の「相互利用担当者連絡会」の方向性について説明があった。最終的に、①相互利用業務担当者の情報交換の場とする、②相互利用業務関連の講演を開催する（文献資料

調査に役立つなどの研修・講演など)、③承合事項は「相互利用業務に関する内容に限る」、①と②は必ず両方を組み入れる必要はなく、幹事校の判断で内容を決めることができる。という方針で異議なく承認された。

<意見>

①関西大学の金氏

相互利用の講演に限らなくても良いのではないか。

②大阪芸術大学の多賀谷氏

文献資料調査に関する研修など、大規模な大学図書館でなくても学べる機会を得られるので、理事校の提案どおりで良いのではないか。

3. 逐次刊行物分担保存実施要項の改訂について

総会資料に基づき、理事校（流通科学大学 平林氏）から「逐次刊行物分担保存実施要項の改訂について」説明があった。

様々な意見・質問が出た中で、最終的に第2条の「保存義務の文言削除」について、加盟校が担うべき「役割」が条文から無くなってしまっていると意見があつたため、再度分担保存委員会へ案を戻し、次の総会で再審議となった。

<意見・質問>

①プール学院大学 御手洗氏

第8条変更について、配布を公表に変えたのは紙媒体の公表でなく、ホームページなどの公表ということか。

回答：そのとおりである。

②梅花女子大学 安威氏

第7条変更について、分担保存委員会から「保存が必要」と認められた場合、何らかの措置をしてくれるのか。

回答：保存義務化がなくなるため、各図書館が任意での保管・管理となる。

強制力はないため、各図書館の判断となる。

③関西学院大学 今村氏・関西大学 金氏

第2条削除により、加盟校が担うべき「役割」が条文から無くなってしまっている。

4. 2013年度阪神地区協議会年会費について

総会資料に基づき、理事校（流通科学大学 平林氏）から2013年度阪神地区協議会年会費について、2012年度に引き続き5000円とする提案があった。審議の結果、年会費5000円で異議なく承認された。

<質問>

①関西大学 金氏

研究会費の多額繰越金について、決算を見ると支出が10万円台である中、

収入が70万円近くある。そのことについて説明がほしい。

回答：阪神地区協議会からでなく、西地区部会からの交付金収入である。

阪神地区協議会でコントロールができないお金となっている。

5. 2013年度事業計画（案）および2013年度予算（案）について

総会資料に基づき、理事校（流通科学大学 平林氏）から2013年度事業計画（案）および2013年度予算（案）について説明があった。審議の結果、異議なく承認された。

<質問>

①近畿大学 鹿田氏

支出の会議費について昨年度より3万円増えている点、研究会交付金について、今年度の支出について説明がほしいとあった。

・・・回答：会議費の3万円が増えている点は、総会前にて講演会を2回計画しているため、その分の費用が計上されている。

・・・回答：研究会費の収入は、同じく西地区部会から交付金として同じく収入がある。支出に関しては、昨年度と同じ費用となりそうである。また2月の研究会については未定。

6. 2013年度相互利用・分担保存運営委員について

総会資料に基づき、理事校（流通科学大学 平林氏）から、2013年度相互利用・分担保存運営委員について説明があった。審議の結果、異議なく承認された。なお、委員として大阪経済法科大学の戸田様は変更になり、後任は未定とあった。

7. 定期総会成立要件について

総会資料に基づき、理事校（流通科学大学 平林氏）から、定期総会の成立要件について提案・説明があった。重要な審議事項であるため、1大学1名の挙手による議決することにした。審議の結果、全会一致の賛成で承認された。

8. その他

学習支援プロジェクトの代表を務める武庫川女子大学小花氏より、2013年度の活動計画について発表があった。秋田にある国際教養大学図書館、ラーニングコモンズを設置している大学図書館へ視察する計画予定である。

IV. 承認事項

特になし

V. 確認事項

1. 2013年度以降の阪神地区協議会役員校・担当者について
総会資料に基づき、理事校（流通科学大学 平林氏）から説明があった。
2. 2013年度以降の大学図書館近畿イニシアティブ委員について
総会資料に基づき、理事校（流通科学大学 平林氏）から説明があった。
3. 2013年度第2回定期総会議長校について
総会資料に基づき、理事校（流通科学大学 平林氏）から説明があり、次回
阪神地区協議会定期総会の議長は高野山大学である旨の報告があった。
4. その他
特になし

VI. その他

特になし

最後に、本年度から運営委員として甲南女子大学 柴山氏から挨拶があった。

以上をもって議事を終了し、流通科学大学附属図書館長 野口博司氏から閉会の挨拶が
あった。

以上